

科目名	共生社会の展開と実践		担当教員	江幡 真史、柳澤 孝主、 里村 恵子、菊地 みほ、 佐藤 章、片岡 幸彦、 若原 圭子、近野 智子、 小野寺 哲夫、宮田 雅之、 熊本 圭吾、鳥居 昭久、 田畑 稔、西澤 達夫、 安田 和弘、宮地 恵美子	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>超高齢社会、健康寿命の延伸など、現代社会の課題を認識し、共生社会の維持向上に寄与できる作業療法士として、将来活動するための考え方を養う。「隣接他分野」で学修した日常生活支援と社会参加に隣接する他分野の知識・技術と「組織の経営・マネジメント」の学修を統合・総括し、共生社会の維持・向上に貢献しうる役割や支援にどのように展開・実践できるかについて、グループ演習により考察する。グループによるディスカッション結果の発表は、理学療法学科と作業療法学科の合同で行い、他学科における応用の考え方に触れる機会を設け、積極的に他職種と協働するための姿勢を育成する。この科目は展開科目と職業専門科目の担当教員が共同で行う。</p>
到達目標	<p>① 作業療法士として共生福祉の理念を実践する意義を説明できる。</p> <p>② 作業療法と「隣接他分野」の関連性について理解している。</p> <p>③ 「組織の経営・マネジメント」の知識・手法と「隣接他分野」で学修した知識を元に、作業療法士の役割を広げるアイデアやサービスを考えることができる。</p> <p>④ 多職種と協働するマインドを有している。</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	授業の進め方、共生社会の実現と展開における作業療法士の役割について
		予習	特になし
		復習	授業の内容についてまとめておく
2	展開・実践アイデアの検討と集約 ①	授業内容	作業療法における「ユニバーサルツーリズム」の展開について、事例研究を交えて学修する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
3	展開・実践アイデアの検討と集約 ②	授業内容	グループに分かれ、前回の授業で学修した知識や事例を振り返ると共に、今後作業療法士が社会から求められる展開・実践アイデアについてディスカッションを行い、グループとして一つの案に集約する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく

4	展開・実践 アイデアの 検討と集約 約③	授業内容	「日常生活支援・社会参加の促進」における QOL 維持向上への取り組みを、作業療法においてどのように展開することが可能か、事例研究を交えて学修する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
5	展開・実践 アイデアの 検討と集約 ④	授業内容	グループに分かれ、前回の授業で学修した知識や事例を振り返ると共に、今後作業療法士が社会から求められる展開・実践アイデアについてディスカッションを行い、グループとして一つの案に集約する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
6	展開・実践 アイデアの 整理	授業内容	3回目及び5回目の授業においてグループディスカッションを行った内容の要点を整理し、プレゼンテーションの準備を行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
7	発表と考察 (学科毎)	授業内容	3回目及び5回目の授業においてグループディスカッションを行った内容についてプレゼンテーションを行うと共に、他のグループとの視点の違いについて考察する
		予習	プレゼンテーションの準備を行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
8	展開・実践 アイデアを 構想化する 手順	授業内容	「組織の経営・マネジメント」の学修内容を振り返ると共に、7回目の授業にてプレゼンテーションを行った展開・実践アイデアの実現に向けて、構想にまとめ上げるための手順を学修する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
9	構想化の手 法と活用①	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法や具体的なフォーマットの活用方法について確認した上で、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
10	構想化の手 法と活用②	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法を用いて、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
11	構想化の手 法と活用③	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法を用いて、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
12	構想化の手 法と活用④	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法を用いて、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく

13	構想の整理	授業内容	グループ毎に構想を整理し、プレゼンテーションの準備を行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
14	発表 (学科合同)	授業内容	学科合同で構想についてのプレゼンテーションを行い、他学科との交流を行うと同時に、多様な考え方に触れる場とする
		予習	プレゼンテーションの準備を行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
15	発表と講評 (学科合同)	授業内容	学科合同で構想についてのプレゼンテーションを行い、その後教員による講評を行う
		予習	プレゼンテーションの準備を行う
		復習	授業の内容についてまとめておく

評価法基準	プレゼンテーション (80%) まとめレポート (20%)
教科書	適宜、必要な資料を配布 これまで受講した科目の中で、当該科目に関連する科目のテキストを使う場合があります
参考書	なし
履修上の注意	個人での学修よりも、グループ活動への貢献を評価します
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	共生福祉論		担当教員	柳澤 孝主	
学科	作業療法学科		学年	1 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	“共生福祉”に関する様々なとらえ方を把握した上で、“共生社会”との関連性を明確にする。また、支援専門職にとっての“共生福祉”の意味と意義を明らかにし、地域社会において多職種による連携・協働、市民の協力を得た上でのネットワーキングの必要性を明確にする。これらを具体的かつ実践的に学んでいく。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、“共生”の意味を明確化する。 2、“共生福祉”“共生社会”のあり方を具体的に説明できる。 3、各支援専門職にとっての“共生福祉”の意義と意味を説明できる。 4、地域社会における“共生福祉”の展開と可能性の輪郭を説明できる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	“共生福祉”と本学の理念の関連性について、その異同を含めて学ぶ。
		予習	本学の理念を反芻し、“共生”“共生福祉”の基本的考え方を調べる。
		復習	授業の内容と本学の理念を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。
2	共生社会における社会福祉の意義	授業内容	“共生社会”の様々な捉え方を学び、“共生福祉”との関連性を明確にする。
		予習	共生社会の特徴とその実現のための諸条件を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。
3	社会福祉における“共存・共生”の理解①	授業内容	社会福祉におけるノーマライゼーションの考え方を具体的に学ぶ。
		予習	ノーマライゼーションの基本理念と特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。ノーマライゼーションの具体例をリストアップする。
4	社会福祉における“共存・共生”の理解②	授業内容	社会福祉におけるリハビリテーションの考え方を具体的に学ぶ。
		予習	各種リハビリテーションの要点を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。社会福祉におけるリハビリテーションの特徴をリストアップする。
5	社会福祉における“共存・共生”の理解③	授業内容	社会福祉におけるボランティアの考え方を具体的に学ぶ。
		予習	ボランティアの言葉の意味と特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。ボランティアの思想としての特徴を改めてリストアップする。
6	保健医療専門職にとっての“共生”の意味	授業内容	保健医療専門職にとってのノーマライゼーションの意味を問いながら、“共生”の意義を学ぶ。
		予習	保健医療専門職によるノーマライゼーションに関する具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた具体例を照らし合わせ、要点を整理する。

7	リハビリテーション専門職としての“共生”の意味	授業内容	特に理学療法士、作業療法士にとってのリハビリテーションの意味を改めて問いながら、“共生”の意義を学ぶ。
		予習	社会リハビリテーションの具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた具体例を照らし合わせ、要点を整理する。改めてリハビリテーションと“共生福祉”の関連を明確にする。
8	社会福祉専門職としての“共生”の意味	授業内容	社会福祉専門職にとってのボランティアの意味を問いながら、共生の意義を学ぶ。
		予習	社会福祉専門職によるボランティアのとらえ方の特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
9	近接概念との関連性	授業内容	特に、“インクルージョン”“ダイバーシティ”と共生概念との異同を明確化する。
		予習	“インクルージョン”“ダイバーシティ”の基本的考え方を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
10	当事者にとっての“共生福祉”の意義①	授業内容	児童、高齢者、障害者それぞれにとって“共生福祉”とは何か、当事者の声を参考にしながら具体的に学ぶ。
		予習	児童、高齢者、障害者それぞれの“生きづらさ”の特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
11	当事者にとっての“共生福祉”の意義②	授業内容	市民一般にとって“共生福祉”とは何か、当事者の声を参考にしながら具体的に学ぶ。
		予習	市民一般にとっての代表的な“生きづらさ”の特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する
12	地域社会における“共生福祉”の展開①	授業内容	地域社会における援助専門職による多職種連携・協働の意義を明確にし、その具体的展開とこれからの可能性を学ぶ。
		予習	地域社会における多職種連携の具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
13	地域社会における“共生福祉”の展開②	授業内容	地域社会における援助専門職と市民との連携・協働の意義を明確にし、その具体的展開とこれからの可能性を学ぶ。
		予習	地域社会における援助専門職と市民との連携例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
14	共助と“共生福祉”	授業内容	各種ボランティア活動とセルフ・ヘルプ・グループの活動を参考にして、共助と“共生福祉”の異同を含めた関連性を学ぶ。
		予習	ボランティア活動、セルフ・ヘルプ・グループ、それぞれの具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。共助と“共生福祉”との関連性を改めて整理しておく。

15	共生社会の 実現に向け て	授業内容	“共生福祉”を通して真の“共生社会”とは何か、を問い、その特徴をリストアップし、身近なことからその実現へ向けての展望を図る。
		予習	典型的な“共生社会”の実例を調べる。
		復習	これまでの授業を振り返り、“共生社会”と“共生福祉”の関連性を明確にする。両者それぞれの実現のための諸条件をリストアップする。
評価法基準	期末試験レポート 70%、授業内課題 15% リアクションペーパーの提出回数と内容によって判断する 15% フィードバック：毎回リアクションペーパーの提出を求め、次回に数人（匿名）のリアクションペーパーを紹介し、質問に答えるとともに、前回の振り返りに活用する。		
教科書	決まったものは置かない。		
参考書	「新・社会福祉学 - 共存・共生の臨床福祉学を目指して -」 足立、佐藤、宮本編 中央法規 「共生福祉論 - 障害者・保育・施設・医療」 吉本充賜 ミネルヴァ書房 その他、授業時に適宜紹介する。		
履修上の注意	毎回リアクションペーパーの提出を求める。ヴィジュアル資料や体験学習等の手法を活用することもある。積極的参加の態度で取り組むこと。		
オフィスアワー	火曜（12:10～12:50）、4-3 研究室 水曜（12:10～12:50）、4-3 研究室		

科目名	ユニバーサルツーリズムと外出支援 I	担当教員	若原 圭子		
実務経験	流通系シンクタンク、大手旅行会社のシンクタンクで研究員・コンサルタントとして 30 年以上にわたり、ライフスタイル研究、ツーリズム研究、国や自治体の進めるバリアフリーやユニバーサルツーリズムに関する事業に携わってきました。高齢者介護や移動支援の実務経験もあり、これらの経験を活かして、誰もが旅行や外出を楽しめることの意義やその方策について学んでいただきます。本科目の学びは医療職としての強みとなるでしょう。				
学科	作業療法学科	学年	2 学年		
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	年齢や障害などに関わらず、誰もが外出や旅行を楽しむユニバーサルツーリズムの定義、意義について学ぶ。高齢者や障がい者などは施設や住宅での限られた環境下の生活から、「お出かけ」をすることで徐々に社会参加が促進される。本人への刺激、生きがい、健康増進への意欲が促進されるだけでなく、周囲の人々への理解を深めるなど、外出の意味は大きい。外出や旅行の意義、共生社会へつながる一歩であることなどを、ユニバーサルデザインやバリアフリーとの関係、障害の社会モデルについて、先進事例などを紹介しながら国内の状況について考える。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 福祉の基礎知識を、「まち」に応用して考える視点を持つことができる。 ② 高齢者や障がい者が「外出・旅行」する意義を説明できる。 ③ 高齢者や障がい者が主語になるのではなく、「誰もが同様に」という共生社会について説明できる。 ④ 共生社会の実現のために、何が必要かを自分の言葉で説明できる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義目的、講義内容、評価方法、ゴールについて。観光学について概観
		予習	シラバスを読んでおくこと。(履修者は)観光学の講義内容を復習しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	ユニバーサルツーリズムとは 1	授業内容	ユニバーサルツーリズムの定義、全体像、対象者、背景などについて
		予習	多様な人の旅行、外出時の困り事を考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	ユニバーサルツーリズムとは 2	授業内容	関係概念 (バリアフリー、ユニバーサルデザイン等) や関係法について
		予習	関係概念について下調べしてくる
		復習	授業内容をまとめておくこと
4	ユニバーサルツーリズムとは 3	授業内容	ユニバーサルツーリズムの対象者の特徴、困り事、必要な配慮について
		予習	困り事への対応を考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
5	外出・旅行の意義・課題	授業内容	高齢者、障がい者の外出・旅行の意義、本人への効用、周囲への影響について (グループディスカッションあり)
		予習	高齢者、障がい者にとっての外出・旅行の意義について考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと

6	ユニバーサルツーリズムの国際比較 1	授業内容	ユニバーサルツーリズムの海外の状況とその背景について概観
		予習	海外のユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
7	ユニバーサルツーリズムの国際比較 2	授業内容	ユニバーサルツーリズムの海外事例について
		予習	海外のユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	日本のユニバーサルツーリズムの取組み	授業内容	日本のユニバーサルツーリズムの取組み状況や担い手について
		予習	身のまわりのユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
9	旅行業におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	旅行業におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	旅行業におけるユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	交通機関におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	交通機関におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	交通機関での身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	宿泊施設におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	宿泊施設におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	宿泊施設における身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
12	観光まちづくりにおけるユニバーサルツーリズム	内容	観光まちづくりにおけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	観光まちづくりにおける身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	観光施設におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	観光施設におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	観光施設における身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
14	飲食サービス業におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	飲食サービス業におけるユニバーサルツーリズムについて。視覚障害者接遇演習
		予習	飲食サービス業における身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
15	まとめ	授業内容	14回の講義のまとめ、得られた学びの発表とディスカッション
		予習	14回の振り返りと発表の準備をしておくこと
		復習	全授業の振り返りと自分の中の気づきを整理しておくこと

評価法基準	<p>期末課題レポート 60%、授業内ミニレポート 20%、口頭発表 20%</p> <p>基準：課題レポートは、5つのテーマのうち2つを選択し、理解度、論理性、自身の考えを述べているかなど複数の項目によりその内容を評価する（30点×2テーマ）。</p> <p>評価基準は授業初回時に明示する。</p> <p>フィードバック：講義での疑問点は、随時、全体に向けてフィードバックを行う</p>
教科書	教科書：なし（講義後プリント配布）
参考書	<p>「観光と福祉」島川崇 成山堂書店、</p> <p>「福祉のまちづくりその思想と展開」高橋 儀平 彰国社</p> <p>「ユニバーサルデザインの基礎と実践」鹿島出版会 いずれも購入は任意</p>
履修上の注意	<p>授業では講義のほかグループディスカッションを行う</p> <p>観光学を受講していることが望ましい</p>
オフィスアワー	<p>火曜日（12:10～12:50）、4・5 研究室</p> <p>金曜日（12:10～12:50）、4・5 研究室</p>

科目名	ユニバーサルツーリズムと外出支援Ⅱ	担当教員	若原 圭子		
実務経験	流通系シンクタンク、大手旅行会社のシンクタンクで研究員・コンサルタントとして30年以上にわたり、ライフスタイル研究、ツーリズム研究、国や自治体の進めるバリアフリーやユニバーサルツーリズムに関する事業に携わってきました。高齢者介護や移動支援の実務経験もあり、これらの経験を活かして、誰もが旅行や外出を楽しめることの意義やその方策について学んでいただきます。本科目では、社会課題への気付きを得ながら、より実践的な企画・プレゼンテーションについても学びます。				
学科	作業療法学科	学年	3 学年		
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	年齢や障害などに関わらず、誰もが外出や旅行を楽しむユニバーサルツーリズムについて、実際の街を歩いてその課題と解決策についてグループワークを通して学ぶ。高齢者や障がい者が実際の街でどのような不便があり、誰もが外出や旅行を楽しむためには何が必要かをグループワーク、フィールドワークを通して考える。改善提案では地域の活性化につなげたプランについて、プレゼンシートを作成し、コンテスト形式で発表を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 共生社会の実現のために、具体的にどのような課題があるかに気づくことができる ② 様々なバリアの解消方法を提案することができる ③ ユニバーサルツーリズムを地域活性化につなげる視点を持つことができる ④ グループでコミュニケーションをとりながらゴールに到達することができる ⑤ グループでプレゼンシートを作成し、分担してプレゼンテーションを行うことができる

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義目的、演習内容、評価方法、ゴールについて、外出・旅行に必要な配慮について
		予習	ユニバーサルツーリズムⅠの講義内容を復習しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	バリア調査演習	授業内容	演習概要等説明、バリア調査演習
		予習	バリア調査についての資料を読むこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	観光商品企画・マーケティング	授業内容	観光マーケティング・地域活性化に関するポイント、課題エリア設定について
		予習	観光学（履修者）、ユニバーサルツーリズムと外出支援Ⅰの講義内容を復習しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
4	外出・旅行、地域活性化のポイント	授業内容	エリア分析、企画素案の立て方
		予習	課題エリアについて調べてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
5	エリア素材の発掘	授業内容	個人で企画素案発表、グループ分け、エリア素材の発掘、選定、決定
		予習	エリア内の観光素材を調べ企画素案の発表準備をしてくること
		復習	決定内容の確認、現地で何を調べるかの確認をしておくこと

6	企画アウト ライン作成	授業内容	グループで、対象者、テーマ決定、ツアー計画素案作成
		予習	誰を対象にどのようなプランとするかを考えてくること
		復習	決定内容の確認をしておくこと
7	フィールド ワーク計画	授業内容	グループでフィールドワーク計画作成、提出
		予習	誰を対象に、何を確認するかを考えてくること
		復習	計画の詳細を確認しておくこと
8	フィールド ワーク 1	授業内容	グループで選択候補地の確認（どのような場所か、想定したとおりか）
		予習	計画の精査、事前にネット等で確認しておくこと
		復習	フィールドワークで気づいたことをまとめておくこと
9	報告会及び 計画修正	授業内容	グループでフィールドワーク結果の整理と報告、計画修正と確認事項検討
		予習	報告内容の確認、計画の修正案を考えておくこと
		復習	計画修正の確認、グループでの共有、現地での確認事項を考えておくこと
10	フィールド ワーク 2	授業内容	グループで決定候補地の課題確認（バリアチェックなど）、提案書の方向性の確認
		予習	チェック項目の確認をしておくこと
		復習	フィールドワークの結果の整理をしておくこと
11	提案に向け たワーク	授業内容	気づいた点に対し、どのような改善策が必要か、対象者及び地域への価値についてグループで検討
		予習	どのような提案ができるかを考えておくこと
		復習	グループで出された改善案を整理しておくこと
12	提案書作成 1	授業内容	提案書（プレゼンシート）作成方法、グループワーク、グループでの提案書作成 1
		予習	提案のストーリーラインイメージを作っておくこと
		復習	作成したものを確認し、PCで作成しておくこと
13	提案書作成 2	授業内容	グループで提案書作成 2（詳細作成）
		予習	提案書を肉付けするイメージを作っておくこと
		復習	提案書を PC で作成しておくこと
14	提案書作成 3	授業内容	グループで提案書作成 3（詳細作成と完成）、プレゼンテーション（発表）準備
		予習	改善案を完成させるイメージを作っておくこと
		復習	提案書を PC で完成させておくこと
15	プレゼンテ ーション	授業内容	グループで、コンテスト形式でプレゼンテーション。評価、講評
		予習	プレゼンテーションの分担及び発表準備をしておくこと
		復習	プレゼンテーションの反省と他メンバーからのフィードバックを整理し、全授業を振り返ること

評価法基準	<p>評価法：グループでのプレゼンシート 50%、プレゼンテーション 30%、口頭発表 20%</p> <p>基準：プレゼンシートは、街の観光施設等への集客において、想定した困り事のある訪問客及び地域への提供価値、施設等の課題への改善提案をするものとし、その内容を評価。プレゼンテーションは、各自の伝える力を評価する。評価基準は授業初回時に明示する。</p> <p>フィードバック：講義、フィールドワーク等での疑問点は、随時、全体に向けてフィードバックを行う</p>
教科書	なし（配布資料）
参考書	なし
履修上の注意	ユニバーサルツーリズムと外出支援 I を履修していることが前提
オフィスアワー	<p>火曜（12:10～12:50）、4-5 研究室</p> <p>金曜（12:10～12:50）、4-5 研究室</p>

科目名	美容ケアによる QOL の維持向上 I		担当教員	光江弘恵	
学科	作業療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	保健医療の現場に於ける、美容の基礎理論と実践技術について学習する。美容を主とした認知機能や運動機能について学習し、QOL・ADL の向上を目的とする。皮膚を通した心身効果と心理的作用についての理論学習、それをもとにした実習を通し、体感することでより効果的な理解を深める。又、リハビリメイク・エンゼルメイクや、人生の終末までに想定される美容の問題の取り組みについても学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 美容の基礎理論や心理的作用について説明できる。 ② 美容の基礎技術や心身効果について、実践活動を想定した技術を修得できる。 ③ 美容用具について正しい理解と説明ができ、用具を正しく安全に使用することができる。 ④ 人の誕生～終末までに想定される美容の問題について課題を抽出できる。

No.	テーマ		内容
1	メイクアップの世界	授業内容	全 30 時間で学習を行う内容説明とメイクの重要性
		予習	自身のライフスタイルにおける整容と美容の関係性についての考えをまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
2	スキンケアメイクアップの全行程デモ	授業内容	皮膚を通して心を癒し顔や髪を整えることで人が輝く。デモンストレーションと解説により理解を深める
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
3	美容理論基礎 ①	授業内容	ハンドマッサージ・皮膚を通した心理作用（心を癒す肌コミュニケーション）について学習する
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
4	美容理論基礎 ②	授業内容	ネイルケア～ネイルカラーリング・色の視覚効果による変化と QOL 向上について学習する。
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
5	美容理論基礎 ③	授業内容	フィシャルトリートメント～スキンケア・皮膚を通して心を癒す。触覚効果による QOL 向上について学習する。
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。

6	美容理論基礎 ④	授業内容	アイブロウ・眉による表情変化と影響。眉の形による内的影響と外的影響について学習する。
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
7	美容理論基礎 ⑤	授業内容	メイクアップ技術の学習（フェイシャルトリートメント～スキンケア～ベースメイクアップ）
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
8	美容理論基礎 ⑥	授業内容	メイクアップ技術の学習（ベースメイクアップ～ポイントメイクアップ①（チークメイク））
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
9	美容理論基礎 ⑦	授業内容	メイクアップ技術の学習（ポイントメイクアップ②（アイメイク・リップメイク））
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
10	美容理論基礎 ⑧	授業内容	メイクアップ技術の学習（ポイントメイクアップ③（アイブロウ・アイメイク・リップメイク））
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
11	アロマテラピー	授業内容	精油の種類と基本知識を学ぶ
		予習	香りの活用についてまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
12	対象者へのアドバイス	授業内容	化粧と整容の指導・日常再現性とアドバイスについて一連の流れを通して実践する。
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
13	メイクアップの特殊技術①	授業内容	先天的、後天的に起こった皮膚や形態の問題に対応するリハビリテーションメイクの方法(化粧品及び手技)
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
14	メイクアップの特殊技術②	授業内容	エンゼルメイク(人生最後のメイク) 研究成果
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	授業内容をまとめておくこと。
15	加齢と共に求められる美容	授業内容	誕生から人生の終末までに想定される美容の問題に取り組む必要性。（特にスカルプケアの技術）
		予習	前回の体験授業を踏まえ、課題等をまとめておくこと。
		復習	全授業で学んだこと・課題点をまとめておくこと。

評価法基準	<p>評価法：理論を通した実践の習熟度 50% レポート 50%</p> <p>全講義を通して、理論と理論を通した実践への取り組みに対する、多面的な理解で評価する。</p>
教科書	配布テキスト有
参考書	なし
履修上の注意	<p>現場実践を想定して学生同士の互いの相モデルによる実習を行う予定。メイクアップやスキンケアに該当する日は顔に、ヘアスカルプは髪に、ネイルは爪に、ハンドマッサージは手に実際に相互に行う。衛生面には十分注意を払った上で、自身が人に触れ、人に触れられる事を想定しておくこと。</p> <p>また、この科目では下記の消耗品が必要になります。履修する皆さんは各自で必ず用意した上で授業に出席するようにしてください。</p> <p>【用意するもの：ティッシュ・コットン・綿棒・フェイスタオル 2 枚】</p> <p>指定教材あり【化粧水・保湿ジェルクリーム・ネイルオイル】前年度参考 1 名あたり 4,400 円</p>
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける

科目名	美容ケアによる QOL の維持向上Ⅱ		担当教員	光江弘恵	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	保健医療分野において対象者に美容・整容等を実践するための技術を学ぶ。高齢者にとって化粧は外出の動機づけにもつながり、外出頻度とも関係すると言われている。スキンケア・フェイシャルトリートメント・スカルプ&ヘアケア・メイクアップ・ネイルケアの技術の基礎について、学生相互に実践しながら学ぶ。対象者に実際に化粧・整容等の指導・アドバイスができるよう、必要な対象者へどのように美容・整容等の指導・アドバイスを行っていくのかを実技を通して理解する。また、保健医療の分野で対象者に美容・整容等の指導・アドバイスを施す際に必要な用具や化粧品等の種類や使用法等について理解を深める。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 対象者の状態を理解し、望ましい美容・整容等の種類を抽出することができる。 ② 保健医療施設等での美容・整容等に必要な用具や化粧品等の種類や使用法等について説明できる。 ③ 望まれる基礎的な美容技術を対象者に指導できる。 ④ 病院や施設等で化粧・整容等のサービスの進行ができる。

No.	テーマ		内容
1	スキンケア 1	授業内容	スキンケア体験実技1（洗顔等）
		予習	自分が使用しているスキンケア製品をまとめておく
		復習	実技で学んだことをまとめておくこと
2	スキンケア 2	授業内容	スキンケア体験実技2（保湿等）
		予習	スキンケアで保湿が必要な理由をまとめておくこと
		復習	全2回の授業で理解したスキンケアが必要な理由をまとめておくこと
3	フェイシャル トリート メント	授業内容	フェイシャルトリートメント手技実技1（基本姿勢・基本動作等）
		予習	顔の構造を理解しておくこと
		復習	実技で学んだことをまとめておくこと
4	アロマテラ ピー	授業内容	アロマオイルの応用
		予習	前年度の授業を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	香りが心にもたらす効果をまとめておくこと
5	スカルプ& ヘアケア1	授業内容	スカルプ&ヘアケア体験実技1
		予習	自分が使用しているヘアケア製品をまとめておくこと
		復習	実技で学んだことをまとめておくこと
6	スカルプ& ヘアケア2	授業内容	ヘアスタイリング体験実技
		予習	前回の実技を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	全2回の授業で理解したヘアケアが必要な理由をまとめておくこと
7	メイクアッ プ1	授業内容	メイクアップ体験実技1（メイクアップの基本）
		予習	自分が使っている（知っている）メイクアップ製品をまとめておくこと
		復習	実技で学んだことをまとめておくこと

8	メイクアップ2	授業内容	メイクアップ体験実技2（メイクアップ技術：ベースメイク）
		予習	前回の実技を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	全2回の授業で理解したメイクアップが必要な理由をまとめておくこと
9	高齢者メイクアップ	授業内容	高齢者の顔の特徴に合わせたメイク体験実技
		予習	前回の実技を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	全3回の授業で理解したメイクアップの効果をまとめておくこと
10	ネイルケア1	授業内容	ネイルケア体験実技1（基礎）
		予習	前回の実技を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	実技で学んだことをまとめておくこと
11	ネイルケア2	授業内容	ネイルケア体験実技2（応用）
		予習	前回の実技を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	全2回の授業で理解したネイルケアが必要な理由をまとめておくこと
12	エンゼルメイク	授業内容	エンゼルメイク体験実技
		予習	美容ケアⅠでの講義を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	エンゼルメイクの意義をまとめておくこと
13	リハビリメイク1	授業内容	リハビリメイク体験実技(基礎)
		予習	美容ケアⅠでの講義を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	リハビリメイクが必要な理由をまとめておくこと
14	リハビリメイク2	授業内容	リハビリメイク体験実技(応用)
		予習	美容ケアⅠでの講義を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	実技で学んだことをまとめておくこと
15	化粧・整容等のサービス実践	授業内容	これまでの実技を元に、複数人を対象とした化粧・整容等のサービスをグループで体験実践する
		予習	美容ケアⅠでの講義を踏まえ課題等をまとめておくこと
		復習	複数人を対象とした化粧サービス実践の運営のポイントをまとめておくこと

評価法基準	評価法：レポート50%、実技試験50%。
教科書	配布資料あり
参考書	なし
履修上の注意	5種類の基本的な美容・整容等の実技と、保健医療に特に関連の高い美容・整容実技を行う予定です。日常的に美容・整容等を自ら行っていない場合でも、授業にあたっては真摯な態度で望んでください。また、この科目では下記の消耗品が必要になります。履修する皆さんは各自で必ず用意した上で授業に出席するようにしてください。 【用意するもの：ティッシュ・コットン・綿棒・フェイスタオル2枚】
オフィスアワー	授業の前後

科目名	音楽療法による QOL の維持向上 I	担当教員	平野 夏子		
実務経験	音楽療法士として 30 年にわたり介護施設、認知症病棟、障害児の発達支援事業所、障害者支援施設、精神障害者自立支援施設等で音楽療法を実践してきました。特に集団活動において、音楽の力を用いて参加意欲を高め、参加者同士のコミュニケーションを促進することを得意としています。この実務経験を活かし、学生の皆さんが作業療法士として音楽を活用できるようになるための実践的な学びをお手伝いします。				
学科	作業療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>イントロダクションでは、介護予防や在宅医療を含む医療福祉の様々な現場で行われている音楽療法について体験的に学び、対象者の QOL の維持・向上の為に音楽をどのように活用できるかを考える。次に音楽療法の基礎理論として、①音楽が自律神経や情緒・感情に与える作用、②音楽が脳に刺激を与え、身体運動を誘発し促進する作用、注意・情報処理・記憶などの認知機能を賦活する作用、③対人関係を促進し乳幼児期の言語獲得にも深く関わる音楽の役割、④音楽の社会的機能について学び、これをリハビリテーションや発達支援に活用する方法を学ぶ。講義の後半では、障がい児・医療現場・認知症高齢者の各領域から具体的な音楽の活用法を紹介し、3年次の実技に向けて、音楽療法のアセスメントと評価の方法、ツールとしての音楽の特性および使用する際の留意点について学ぶ。</p>
到達目標	<p>① セラピーのツールとしての音楽の有用性を知る ② セラピーのツールとしての音楽の特性を知る ③ 様々な現場での音楽の活用法を考えることができる</p>

No.	テーマ		内容
1	イントロダクション①	授業内容	地域活動支援センターの音楽活動の紹介（模擬活動）と解説
		予習	地域活動支援センターでの作業療法について学んだことを復習しておく
		復習	授業の体験から自分にできる音楽の活用法を考える
2	音楽療法の基礎理論①	授業内容	音楽が自律神経や情緒・感情に与える作用について
		予習	自分の日常生活の中で音楽がどのように使われているか考えてくる
		復習	人々の暮らしの中の音楽の機能について整理しておく
3	イントロダクション②	授業内容	高齢者を対象とした音楽活動の紹介（模擬活動）と解説
		予習	介護現場での作業療法について学んだことを復習しておく
		復習	授業の体験から自分にできる音楽の活用法を考える
4	音楽療法の基礎理論②	授業内容	音楽療法とリハビリテーションー音楽がどのように脳を刺激するかー
		予習	「脳の機能局在」について他の科目で学んだことを復習しておく
		復習	音楽活動がどのような脳機能を用いて行われているか整理しておく
5	イントロダクション③	授業内容	発達支援のための音楽活動の紹介（模擬活動）と解説
		予習	障がい児者の現場での作業療法について学んだことを復習しておく
		復習	課題レポート①：自分にできる音楽の活用法について

6	音楽療法の基礎理論③	授業内容	音楽と発達理論－感覚と運動の高次化および言語獲得に関わる音楽の働き－
		予習	「発達」について他の科目で学んだことを復習しておく
		復習	各発達段階に適した音楽活動を整理しておく
7	音楽療法の基礎理論④	授業内容	音楽と社会性－音楽を使うと参加しやすくなるのは何故か－
		予習	音楽が社会の中でどのような役割を果たしているか考えてくる
		復習	音楽の社会的機能について整理しておく
8	ツールとしての音・音楽①	授業内容	音楽の3要素であるリズム・メロディ・ハーモニーについて学ぶ
		予習	身近な音楽を鎮静的音楽と昂揚的音楽の2タイプに分類してくる
		復習	授業で紹介された楽曲を聴いてみる
9	対象別アプローチと事例①	授業内容	障がい児者の音楽療法の事例から学ぶ
		予習	「発達障害」について他の科目で学んだことを復習しておく
		復習	学んだ中から自分に出来る音楽の活用法を考えメモしておく
10	ツールとしての音・音楽②	授業内容	楽器の特性とそれをセラピーに用いる際の注意点について学ぶ
		予習	作業療法に楽器を活用する方法を考え、アイデアをメモしてくる
		復習	考えてきたアイデアに修正を加える
11	対象別アプローチと事例②	授業内容	認知症高齢者の音楽療法の事例から学ぶ
		予習	「認知症」について他の科目で学んだことを復習しておく
		復習	課題レポート②：作業療法における音楽の活用の可能性について考える
12	ツールとしての音・音楽③	授業内容	対象者の生活歴と音楽の関わりについて学ぶ（日本歌謡史）
		予習	両親・祖父母などの若い頃の音楽についてリサーチする
		復習	授業で紹介された楽曲を聴いてみる
13	対象別アプローチと事例③	授業内容	医療現場の音楽療法の事例から学ぶ
		予習	「中途障害」「神経難病」について他の科目で学んだことを復習しておく
		復習	学んだ中から自分に出来る音楽の活用法を考えメモしておく
14	音楽療法のアセスメントと評価	授業内容	音楽行動のアセスメントと評価の方法について学ぶ
		予習	音楽活動をどのように評価するか考えてくる
		復習	学んだアセスメントの方法を身近な人で試してみる
15	活動計画	授業内容	具体的な活動計画の立て方について学ぶ
		予習	作業療法に音楽を活用する方法を考え、アイデアをメモしてくる
		復習	課題レポート③：活動計画書を作成する
評価法基準		授業内課題レポート①②50%、授業内課題レポート③50% 各レポートの評価基準については授業の中で説明する	
教科書		資料を作成し配布する	

参考書	『ひとと音・音楽—療法として音楽を使う』山根寛、青海社、『基礎から学ぶリハビリテーションと音楽療法』笠井史人・小島寿子、音楽之友社、『感覚統合を活かして子どもを伸ばす！音楽療法』柿崎次子、明治図書出版、『音楽で脳はここまで再生する—脳の可塑性と認知音楽療法』奥村歩、人間と歴史社
履修上の注意	使用する楽曲の研究のために、PC、スマートフォン等の使用を推奨する
オフィスアワー	水曜（12:10～12:50）、5-8 研究室

科目名	音楽療法による QOL の維持向上 II	担当教員	平野 夏子		
実務経験	音楽療法士として 30 年にわたり介護施設、認知症病棟、障害児の発達支援事業所、障害者支援施設、精神障害者自立支援施設等で音楽療法を実践してきました。特に集団活動において、音楽の力を用いて参加意欲を高め、参加者同士のコミュニケーションを促進することを得意としています。この実務経験を活かし、学生の皆さんが作業療法士として音楽を活用できるようになるための実践的な学びをお手伝いします。				
学科	作業療法学科	学年	3 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	心身の機能を高め交流を促進する音楽の特性を活かし、対象者の QOL の維持・向上を目指す活動プログラムを考え、模擬活動として実施しながら課題や改善点について話しあい、修正していく。自分の音楽スキルを知り、それを有効に活用できるようになるために、グループ単位で音楽演奏にも取り組んでもらう。最終的に、医療や福祉の現場を想定した集団プログラムもしくは在宅医療・介護の現場を想定した介護者にもできる簡易な個別プログラムのどちらかを選択し、音楽を活用した活動計画書を作成する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 自由な発想で、自分も楽しみながら、活動を計画することができる。 ② 歌や楽器、様々な音楽ソースを自分のスキルに応じて活用することができる。 ③ 対象者の立場に立ち、楽しく意欲的になれる活動を考えることができる。 ④ 音楽を心身機能の向上や社会的交流の促進のために活用することができる。 ⑤ 在宅の介護者にもできる音楽を用いた簡易な活動プログラムを考えることができる。

No.	テーマ		内容
1	活動提供技術①	授業内容	「学生が考案した活動①」を実施し、課題をみつけ改善する
		予習	2 年次のレポートで考案した活動を具体的にイメージしてくる
		復習	学んだことを応用して自分の活動を修正する
2	活動提供技術②	授業内容	「学生が考案した活動②」を実施し、課題をみつけ改善する
		予習	活動②を実施できるように練習してくる
		復習	学んだことを応用して自分の活動を修正する
3	音楽演奏技術①	授業内容	グループごとに 1 曲、楽器を活用して音楽演奏を準備する
		予習	各グループで曲を決め、聴いて歌えるようにしてくる
		復習	必要な個人練習を行う
4	音楽演奏技術②	授業内容	グループごとに 1 曲、音楽演奏の発表をする
		予習	発表に向けてグループ練習を行う
		復習	他のグループの発表から学んだことをメモしておく
5	音楽を用いた身体活動①	授業内容	グループで、音楽を用いた身体活動を立案し、発表の準備をする
		予習	これまでに学んだ内容から、身体活動のプランを立ててくる
		復習	グループ毎に計画書を清書しておく

6	音楽を用いた身体活動②	授業内容	音楽を用いた身体活動の発表
		予習	発表に向けて準備・練習を行う
		復習	他のグループの発表から学んだことをメモしておく
7	歌を用いた活動①	授業内容	グループで、歌を用いた活動を立案し、発表の準備をする
		予習	これまでに学んだ内容から、歌唱活動のプランを立ててくる
		復習	グループ毎に計画書を清書しておく
8	歌を用いた活動②	授業内容	歌を用いた活動の発表
		予習	発表に向けて準備・練習を行う
		復習	他のグループの発表から学んだことをメモしておく
9	楽器活動①	授業内容	グループで、楽器を用いた活動を立案し、発表の準備をする
		予習	これまでに学んだ内容から、楽器活動のプランを立ててくる
		復習	グループ毎に計画書を清書しておく
10	楽器活動②	授業内容	楽器を用いた活動の発表
		予習	発表に向けて準備・練習を行う
		復習	他のグループの発表から学んだことをメモしておく
11	集団活動の計画①	授業内容	グループ毎に音楽を用いた集団活動プログラムを計画する
		予習	各自音楽を用いた集団活動を考案してくる
		復習	グループ毎に計画書を清書しておく
12	集団活動の計画②	授業内容	集団プログラムについてのグループ発表を行う
		予習	発表に向けて準備を行う
		復習	他のグループの発表から学んだことをメモしておく
13	個別活動の計画①	授業内容	在宅の介護者にもできる音楽を用いた簡易な活動プログラムを計画する
		予習	各自音楽を用いた個別活動を考案してくる
		復習	グループ毎に計画書を清書しておく
14	個別活動の計画②	授業内容	在宅プログラムについてのグループ発表を行う
		予習	発表に向けて準備を行う
		復習	他のグループの発表から学んだことをメモしておく
15	活動プログラムの作成	授業内容	音楽を用いた作業療法プログラムの作成指導
		予習	集団プログラムまたは個別プログラムを選択し計画書を作成してくる
		復習	計画書を仕上げる

評価法基準	レポート課題：100% 「音楽を活用した集団活動もしくは介護者のための在宅でできる個別活動プログラムについて」
-------	--

教科書	なし
参考書	「基礎から学ぶリハビリテーションと音楽療法」 笠井史人・小島寿子著／音楽之友社
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・動きやすい服装で参加すること。 ・使用する楽曲のリサーチのために、PC、スマートフォン等の使用を推奨する。 ・楽器経験のある者は、楽器を持参すれば授業の中で活用することができる。キーボード、ギターなどは、授業時間内は学校のを貸し出すことができる。
オフィスアワー	水曜（12:10～12:50）、5・8 研究室

科目名	身体障害への支援システム工学 I	担当教員	西澤 達夫		
実務経験	電気会社半導体部門にて音声合成 LSI の応用技術開発に従事後、電気機器製造会社に移籍し、視覚障害者等の印刷物の読みに困難を持つ障害者向けの電子書籍規格であるデイジー規格の国際標準化に携わるとともに、プロジェクトリーダーとして同規格に対応した視覚障害者向けの読書機を開発・製品化した。これらの実務経験に基づき、様々な障害への理解と支援システムの設計・実現手法、およびその評価手法について講義を行う。				
学科	作業療法学科	学年	2 学年		
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	ロボットに代表される工学における支援システムの開発から市場投入までの一連のプロセスを、実証実験手法も含めて体系的に学ぶ。基礎として、人間の感覚、認知、認識特性に基づくヒューマンインタフェースの設計手法について学習する。次に障害特性の定義と代行手段の選択に基づいた要件定義と製品化手法について、保健医療の現場で行う試作機を用いた実証実験による仮説検証手法とアンケートの評価手法に重点を置いて学ぶ。
到達目標	① 障害特性の定義と代行手段の選択に基づく支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ② 保健医療分野の現場における仮説検証に基づいた実証実験手法を説明できる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義の目的と授業方法、参考資料等についてのガイダンス
		予習	不要
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	人間の感覚、認知、認識特性	授業内容	人間の感覚、認知、認識特性の特徴と VR (仮想現実)
		予習	VR の応用事例を調査しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	ヒューマンインタフェースの設計手法	授業内容	ヒューマンインタフェースの各種事例と設計上の留意点
		予習	コンピュータゲーム機器のインタフェースを調査しておくこと
		復習	身近な機器、サービスにおける操作トラブル事例をまとめておくこと
4	ヒューマンインタフェースの事例検討	授業内容	操作トラブル事例についてグループワークし、その改善策を発表する
		予習	操作トラブル事例の改善策をまとめておくこと (参考文献リスト提示)
		復習	グループワークで得られた知見を基にヒューマンインタフェースの設計手法についての理解を深めること
5	障害特性の定義	授業内容	障害の種類と障害特性の社会モデルに基づく定義
		予習	福祉における障害種別を調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
6	障害特性に基づく代行手段の選択-1	授業内容	情報保障による支援システム
		予習	スマートフォンや PC の支援機能を調べておくこと
		復習	自身で使っているスマホや PC で支援機能を使い感想をまとめておくこと

7	障害特性に基づく代行手段の選択—2	授業内容	機器（ロボット等）による支援システム
		予習	障害種別に機器による支援例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	中間まとめ	授業内容	人間の感覚、認知、認識特性に基づく障害種別支援システムの構築
		予習	1～7コマまでの講義の内容をまとめておくこと
		復習	中間レポートとして今までの講義から得られた知見を提出すること
9	支援システム事例	授業内容	保健医療分野における支援システム開発のケーススタディ
		予習	保健医療分野での支援システムの好事例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	支援システムの設計手法	授業内容	支援システムの要件定義、商品企画、開発、実証実験、製品化までの手順
		予習	保健医療分野の新製品・サービスを調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	商品企画の事例検討	授業内容	新製品開発についてグループワークし、商品企画内容を発表する
		予習	保健医療分野の新製品のアイデアを検討しておくこと
		復習	グループワークで得られた知見を基に理解を深めること
12	仮説検証と実証実験	授業内容	仮説検証に基づく、実証実験の手法
		予習	試作品による保健医療分野における検証事例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	倫理審査	授業内容	倫理審査の必要性と審査項目
		予習	個人情報保護、人権について調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
14	アンケート手法と統計的手法による検証	授業内容	アンケート項目の策定と統計的手法に基づく有効性の判定
		予習	アンケート調査事例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
15	最終まとめ	授業内容	講義全体のまとめと情報更新、Q&A
		予習	質問事項をまとめておくこと
		復習	レポート提出

評価法基準	授業内最終レポート 30%（最終回授業時）、期末試験 25% 中間試験 25%、中間レポート 20%（第 8 回授業時）
教科書	講義の事前に配布、参考文献リストは予習用に配布
参考書	なし
履修上の注意	自身で使用しているスマートフォンや PC の支援機能を調べ、学習等の日常生活で使ってみてその効果について、体験してみる
オフィスアワー	授業実施日の昼休み（12:10～12:50） 5-4 研究室

科目名	身体障害への支援システム工学Ⅱ	担当教員	西澤 達夫		
実務経験	電気会社半導体部門にて音声合成 LSI の応用技術開発に従事後、電気機器製造会社に移籍し、視覚障害者等の印刷物の読みに困難を持つ障害者向けの電子書籍規格であるデイジー規格の国際標準化に携わるとともに、プロジェクトリーダーとして同規格に対応した視覚障害者向けの読書機を開発・製品化した。これらの実務経験に基づき、様々な障害への理解と支援システムの設計・実現手法、およびその評価手法について講義を行う。				
学科	作業療法学科	学年	3 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	福祉機器の製品化プロセスを障害当事者向けのマウス操作のインタフェースを事例に学ぶ。インタフェースは、障害種別を想定して試作する。実証実験では、試作したインタフェースを PC (Windows) の補助機能の組み合わせで機能評価とアンケートを実施し、統計的解析手法を用いてその有効性を検証する。
到達目標	① 支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ② 支援システムの試作品評価における実証実験手法と倫理審査の実施手順を説明できる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	演習の目的と授業方法、参考資料等についてのガイダンス
		予習	不要
		復習	不要
2	PC (Windows) 補助機能- 1	授業内容	表示、キーボード、マウス操作機能
		予習	自身の PC の補助機能を確認しておく
		復習	不要
3	PC (Windows) 補助機能- 2	授業内容	スクリーン読み上げ機能
		予習	スクリーンリーダーを調べておく (参考文献リスト提示)
		復習	不要
4	ヒューマンインタフェースの設計- 1	授業内容	肢体障害を想定したマウス操作インタフェースの要件定義
		予習	2 コマ目の補助機能を再確認しておく
		復習	不要
5	ヒューマンインタフェースの設計- 2	授業内容	グループ内でお互いの要件定義内容を発表し、デザインレビューを実施
		予習	要件定義をまとめておくこと (書式提示)
		復習	不要
6	ヒューマンインタフェースの設計- 3	授業内容	肢体障害を想定したマウス操作インタフェースのシステム設計
		予習	要件定義を設計仕様に展開しておくこと (書式提示)
		復習	不要
7	ヒューマンインタフェースの設計- 4	授業内容	知的財産権 (特許等) の概要とその申請手続き
		予習	4 コマから 6 コマまでの設計資料をまとめておく (書式提示)
		復習	不要

8	中間まとめ	授業内容	特許申請書の作成
		予習	既存製品・技術をまとめておく（書式提示）
		復習	中間レポート特許申請書として提出すること
9	機構設計	授業内容	設計仕様に基づき、機構設計を行い、必要部材をリストアップ
		予習	3Dモデリング設計に必要な項目を把握しておく（書式提示）
		復習	不要
10	実証実験の仕様、アンケート調査項目策定	授業内容	仮説検証項目、アウトカム、アンケート項目の策定
		予習	中間レポートを確認しておく
		復習	不要
11	倫理審査	授業内容	倫理審査必要書式の作成
		予習	倫理審査の記入項目を確認しておくこと（書式提示）
		復習	被験者を模して、倫理審査の書式に記入する
12	試作と動作確認	授業内容	部材を組み立てて、動作確認を行う
		予習	不要
		復習	動作確認を完了させる
13	実証実験	授業内容	グループ内で、実証実験、アンケートを実施
		予習	実証実験項目、アンケートをリストアップしておくこと（書式提示）
		復習	不要
14	統計的手法による検証	授業内容	統計的手法に基づく有効性の判定
		予習	エクセルによる統計処理方法を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	結果を報告書としてまとめておくこと
15	最終まとめ	授業内容	演習全体のまとめと情報更新、Q&A
		予習	質問事項をまとめておくこと
		復習	最終レポートとして、試作品の実証実験関連資料、検証結果を報告書として提出すること

評価法基準	中間レポート（40%）・・・第8回授業時 最終レポート（60%）・・・最終回授業時
教科書	講義の事前に配布、参考文献リスト、各種記入書式は予習用に配布
参考書	なし
履修上の注意	自身で使用しているスマートフォンやPCの支援機能を調べ、学習等の日常生活で使ってみてその効果について、体験してみる
オフィスアワー	授業実施日の昼休み（12:10～12:50） 5-4 研究室

科目名	手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅠ	担当教員	有菌 暢子		
実務経験	20年近く手話通訳士として聴覚障害者の福祉に携わり、日常生活、社会生活等で聴覚障害者の社会に参加する権利を守る手話通訳活動を行ってきました。聴覚障害者が通訳を必要とする場面は医療・教育・労働・スポーツなど皆さんの生活と同じく様々です。様々な場面での通訳経験を活かし、皆さんが実習や職場で聴覚障害者と接した時に障害を理解し、相手に合ったコミュニケーションを取ることができるようなコミュニケーション方法を身につけていただきたいと思います。				
学科	作業療法学科	学年	2 学年		
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	手話とは日本語とは異なる独自の文法・語彙体系を持った視覚言語であり、聴覚障害者とのコミュニケーションツールの一つである。手話をはじめとするさまざまなコミュニケーションを持つ聴覚障害者についての学習（障害について、コミュニケーション方法、暮らし、置かれている社会状況など）を通して、聴覚障害に関する基礎知識を理解することを目的とする。コミュニケーションの一つである手話であいさつや自己紹介程度の簡単な会話ができることを目指す。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害に関する基礎知識を学び、障害を理解する。 ・あいさつや自己紹介程度の手話を表せるようにする。

No.	テーマ		内容
1	聴覚障害	授業内容	聴覚障害とは、耳のしくみ
		予習	特になし
		復習	授業の内容をまとめておく
2	コミュニケーション	授業内容	聴覚障害者のコミュニケーション方法
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
3	手話	授業内容	手話とは（手話のなりたち、手話の特徴）
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
4	福祉制度	授業内容	障害福祉制度について
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
5	聴障者の生活	授業内容	聴覚障害者の生活①【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
6	聴障者の生活	授業内容	聴覚障害者の生活②
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく

7	聴障者の教育	授業内容	聴覚障害者の教育
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
8	聴障者の職業	授業内容	聴覚障害者の職業
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
9	聴障者の情報保障	授業内容	聴覚障害者の情報保障【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
10	表現してみよう	授業内容	コミュニケーション I で習った手話を表現する
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	習った単語を確認しておく
11	聴障者の医療	授業内容	聴覚障害者の医療①
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
12	聴障者の医療	授業内容	聴覚障害者の医療②【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
13	聴障者の社会	授業内容	聴覚障害者の社会
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
14	災害	授業内容	聴覚障害者と災害【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
15	まとめ	授業内容	まとめ
		予習	今までの授業内容をまとめておく
		復習	授業の内容をまとめておく

評価法基準	定期試験 50%、授業内課題 50% 授業内課題については内容（感想や質問、自分の意見の有無、文章量などで理解度や意欲をみる）と提出回数を評価する。
教科書	なし。講師作成のプリントを使用する。
参考書	「手話を学ぼう 手話で話そう」 厚生労働省手話奉仕員養成テキスト 発行：社会福祉法人全国手話研修センター 発売：一般財団法人全日本ろうあ連盟 随時参考図書を案内する。
履修上の注意	授業への積極的参加を求めます
オフィスアワー	火曜（12:10～12:50）、6-7 研究室

科目名	手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅡ	担当教員	有菌 暢子		
実務経験	20年近く手話通訳士として聴覚障害者の福祉に携わり、日常生活、社会生活等で聴覚障害者の社会に参加する権利を守る手話通訳活動を行ってきました。聴覚障害者が通訳を必要とする場面は医療・教育・労働・スポーツなど皆さんの生活と同じく様々です。様々な場面での通訳経験を活かし、皆さんが実習や職場で聴覚障害者と接した時に障害を理解し、相手に合ったコミュニケーションを取ることができるようなコミュニケーション方法を身につけていただきたいと思います。				
学科	作業療法学科	学年	3 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	手話とは日本語とは異なる独自の文法・語彙体系を持った視覚言語であり、聴覚障害者とのコミュニケーションツールの一つである。手話をはじめとするさまざまな聴覚障害者とのコミュニケーション方法を学び、手話で日常会話ができることを目指す。また学んだ手話を活かして作業療法実践の場で活用できるようにする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常会話程度の手話を自分で表すことができ、相手の表していることがわかる。 ・ 作業療法実践の場で活用できる手話を習得する。

No.	テーマ		内容
1	自己紹介	授業内容	自己紹介の手話（指文字・名前・数詞・家族）
		予習	コミュニケーションⅠで配布したプリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
2	自己紹介	授業内容	自己紹介の手話（趣味・仕事・住所・県名）
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
3	時制	授業内容	時の表し方（日・月・年）の手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
4	疑問詞	授業内容	疑問詞（いつ、誰など）の手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
5	日常生活	授業内容	日常生活での手話①
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
6	日常生活	授業内容	日常生活での手話②
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく

7	日常生活	授業内容	旅行場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
8	日常生活	授業内容	教育場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
9	日常生活	授業内容	職業場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
10	日常生活	授業内容	医療場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
11	作業療法場面	授業内容	作業療法場面での手話①
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
12	作業療法場面	授業内容	作業療法場面での手話②
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
13	作業療法場面	授業内容	作業療法場面での手話③
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
14	作業療法場面	授業内容	作業療法場面での手話④
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
15	まとめ	授業内容	まとめ
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	授業の内容をまとめておく

評価法基準	定期試験 50%、授業内小テスト及び講師からの設問 50% 手話表現の正確さ、コミュニケーションに必要な表現力、表現練習に取り組む意欲・姿勢と手話の読み取り理解力を評価する。講師からの設問に対する回答回数、内容も評価に含む。
教科書	なし。講師作成のプリントを使用する。
参考書	厚生労働省手話奉仕員養成テキスト「手話を学ぼう 手話で話そう」 発行：社会福祉法人全国手話研修センター 発売：一般財団法人全日本ろうあ連盟

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">・この授業は「手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅠ」における学習内容を基にするため、コミュニケーションⅠの単位を取得していることが前提です。・授業への積極的な参加を求めます。
オフィスアワー	火曜（12:10～12:50）、6-7 研究室

科目名	実務リーダーのための経営戦略論	担当教員	江幡 真史		
実務経験	2000年より20年間に亘り、複数の一部上場企業の(代表)取締役として経営に携わりました。そこで大切にしてきたのは「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」という近江商人の「三方よし」の心得です。実務リーダーとは、コミュニティ(狭義には所属する組織、広義には地域社会)で「三方よし」の精神をもって、自身のもつ資源(人、モノ、金、情報)を効果的に配分できる人です。講義を通じ、そのための基礎的能力を体得しましょう。				
学科	作業療法学科	学年	1 学年		
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	経営戦略の基本概念を、経営理念と経営ビジョンとの関係を交えて理解する。事業別戦略や機能分野別戦略について、各分野の実務家講師による事例を扱った講義と意見交換を通じ、実践的に理解をする。保健医療に関する事例も取り上げる。グループワークや発表を通じて、将来を主体的に構想し、その実現に向けて関係者の協力を形成する基礎的な能力を養う。
到達目標	①戦略と戦術の違いを具体的に説明できる ②ビジネスフレームワークを使って現状分析ができる ③マネジメントとリーダーシップの関係を説明できる ④自身の将来を構想し、その内容を発表できる

No.	テーマ		内容
1	経営とは	授業内容	経営理念、ビジョン、ゴール、経営資源
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	戦略とは	授業内容	会社戦略と機能別戦略
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
3	ビジネスフレームワーク①	授業内容	5フォース分析
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
4	ビジネスフレームワーク②	授業内容	3C分析とSWOT分析
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
5	ビジネスフレームワーク③	授業内容	STPと4P
		予習	身近な商品ブランドが対象とする消費者は誰かを考えておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
6	情報技術	授業内容	情報技術の進展
		予習	IOTについて調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと

7	通信と輸送	授業内容	流通と生産の過程における革命
		予習	総務省 HP 掲載の平成 30 年版『情報通信白書のポイント』に目を通すこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	保健医療	授業内容	保健医療業界の付加価値戦略
		予習	保健医療における新事業・新サービスについて調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
9	ケース (IT 業界)	授業内容	IT 業界を代表する経営者の経営理念とゴール
		予習	IT 業界を代表する経営者についての情報に目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	ケース (運輸業界)	授業内容	運輸業界を代表する経営者の経営理念とゴール
		予習	運輸業界を代表する経営者についての情報に目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	ケース (保健医療業界)	授業内容	保健医療業界を代表する経営者の経営理念とゴール
		予習	保健医療業界を代表する経営者についての情報に目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておくこと
12	起業とは	授業内容	スタートアップを成功に導く
		予習	日本人の起業家の名前を 5 人リストアップすること
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	リーダーシップ	授業内容	マネジメントとリーダーシップの違い
		予習	リーダーシップについて、自分の考えをまとめておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
14	プレゼンテーション①	授業内容	自身の将来設計とその戦略を発表する
		予習	3 分間のプレゼンテーションをスライドショーにまとめる
		復習	プレゼンテーションを振り返り、内容を深める
15	プレゼンテーション②	授業内容	自身の将来設計とその戦略を発表する
		予習	3 分間のプレゼンテーションをスライドショーにまとめる
		復習	プレゼンテーションを振り返り、内容を深める
評価法基準	期末試験 40%、授業内プレゼンテーション 40%、課題レポート 20%、		
教科書	「経営戦略の基本」(株) 日本総合研究所経営戦略研究会、日本実業出版社、2008 年 11 月		
参考書	なし		
履修上の注意	基本となる知識を学び、それを使って考えることを繰り返します。事前学習に取り組み、授業で積極的に発言することで、理解が深まります。さらに、ほかの学生の意見を傾聴し、自分と違う考えを知ることで、応用力が身に付きます。		
オフィスアワー	水曜 (12:10~12:50)、4-2 研究室 木曜 (12:10~12:50)、4-2 研究室		

科目名	組織・人材マネジメントの理論と実践		担当教員	片岡 幸彦	
学科	作業療法学科		学年	1 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>人材の持つ潜在能力を引き出し発揮させる仕掛けやしぐみは重要な経営の要素である。</p> <p>本科目では、組織を一から創って行く時に必要な考え方を時系列に学ぶことによって、組織および人材マネジメントの考え方を理解できるようにカリキュラムを組んでいる。</p> <p>また人が成長し活力ある組織にするために良い組織の要件の理解から始まって、組織のあり方、組織の創り方や組織と人を主体的に動かすマネジメントのあり方、そして人材のマネジメントの仕方とともに、保健医療の組織についても学ぶ。</p>
到達目標	<p>① 将来自分が勤めたい会社について、組織と人材の面から分析出来る</p> <p>② 組織を一から創る時の考え方やしぐみ、方法論が理解できる</p> <p>③ 人が主体的に活動するためのしぐみが理解でき、実際に実践するポイントが理解できる</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	組織と人材マネジメントの目的、範囲、授業の概要説明
		予習	組織って何だろう？良い組織の要件を？考える
		復習	組織があることで良かったこと、悪かったことを周りの人に聞く
2	組織を創る 1	授業内容	組織の共通目的（経営理念、ビジョン、バリュー）に関する講義
		予習	経営理念について調べてくる良い組織とはどのような組織か考える
		復習	身近な例で組織の目的は何か考える
3	組織を創る 2	授業内容	組織の形や組織のシステム（制度・ルール）をつくることに関する講義
		予習	組織図とは何か、組織にはどのような制度・規則・ルールがあるかを調べる
		復習	希望する職種の組織図を調べる
4	組織を創る 3	授業内容	企業の顧客提供価値に関する講義
		予習	どのような企業（お店・サービス、商品等）であれば何度も利用したいと思うか
		復習	再度、自分の気に入った商品・サービスの意味を考える。
5	組織を創る 4	授業内容	個人や組織の文化、背景の違いによる考え方の違いに関する講義
		予習	組織文化とは何か身近な例を探す
		復習	自分の所属する組織の文化風土を見つける
6	組織と人材 を動かす 1	授業内容	マネジメントとは何か：リーダーの役割・行動に関する講義
		予習	自分がメンバーを動かす時にどのようなことをしているか考える
		復習	自分は対人関係においてどのようなパワーを持っているかを考える
7	組織と人材 を動かす 2	授業内容	リーダーとしての意思決定に関する講義
		予習	何かを決める時に迷ったケースを考える
		復習	学んだことを活用する

8	組織と人材を動かす 3	授業内容	メンバーの動機づけ（モチベーションの源泉）に関する講義
		予習	自分はどんな時、何があるとやる気が出るか考える
		復習	学んだことを活用する
9	組織と人材を動かす 4	授業内容	メンバーとうまくいかなかった時の葛藤処理に関する講義
		予習	友達とぶつかった時、どんなことでどのようにぶつかったか考える
		復習	友達とぶつかった時に自分はどのような行動をとりがちか考える
10	人材をマネジメントする 1	授業内容	人事システムの全体像に関する講義
		予習	人事制度とは何か調べる
		復習	人事制度の具体的内容を身近な人に聞く
11	人材をマネジメントする 2	授業内容	仕事の評価と報酬のポイントに関する講義
		予習	自分はどのような評価をされると元気が出るか考える
		復習	具体的な内容を知り合いに聞いてみる
12	人材をマネジメントする 3	授業内容	人材の採用・教育・活用に関する講義
		予習	自分はどのような教育をされるとうれしか考える
		復習	具体的な内容を知り合いに聞く
13	人材をマネジメントする 4	授業内容	学習と成長に関する講義
		予習	自分が成長したなと感じる時はどんな時か考える
		復習	継続的に学習するための方法を考える
14	保健医療の組織論 1	授業内容	医療機関における組織の課題と取り組みに関する講義
		予習	保健医療の組織の課題はどのようなものがあるか考える
		復習	保健医療の組織の課題を整理する
15	保健医療の組織論 2	授業内容	保健医療分野に求められる人材、組織形態、チーム医療に関する講義
		予習	これまで学んだ一般的な組織と保健医療分野の組織の違いについて考える
		復習	保健医療分野の組織の特徴を整理する

評価法基準	定期試験 55%、授業内課題レポート 45%
教科書	教科書はなし。毎回レジュメで対応する。
参考書	「人材マネジメント入門」日経文庫 守島基博著 日本経済新聞社 「組織行動のマネジメント」スティーブン P.ロビンズ（翻訳）高木 晴夫 ダイヤモンド社「経営組織」日経文庫 金井寿宏著 日本経済新聞社 「経済産業省サービス産業人材育成事業 医療経営人材育成テキスト[Ver.1.0] 組織管理」
履修上の注意	クラス討議に貢献すること。 予習がクラス討議の質を高める。必ず予習をしてくること。 授業で学ぶのみならず、自分の所属する組織や自分のことを照らし合わせて考えること。
オフィスアワー	木曜（14:40～16:10）、4-4 研究室

科目名	実践マーケティング戦略		担当教員	宮田 雅之	
実務経験	シンクタンクの研究員・経営コンサルタントとして、様々な企業の経営者や中核人材と共にプロジェクトを立ち上げ、企業変革に携わってきました。 プロジェクト活動を進める上では、プロジェクトメンバー間で検討の方向性を共有する必要がありますが、その際に型（フレーム）が役立ちます。 身に付けた型（フレーム）を活用してプロジェクト活動を進めることを想像しながら、授業を受けて欲しいと考えています。				
学科	作業療法学科		学年	2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	社会に存在する製品、サービスには必ず「市場」が存在する。「市場」を創造すること、「市場」を成長させることで企業、そして消費者は利益を享受することができる。マーケティングとは「市場」を創造、成長させるための営みである。「市場」を創造、成長させるためには、「市場」に対する理解が不可欠である。本講義では、マーケティングで用いられる基本的な概念、メソッドを解説すると共に、成功事例、失敗事例などのケース分析を通じて実践的に活用できるような知識の習得を目指す。
到達目標	①マーケティング分析のフレームワークを用いて「市場」を分析できる。 ②顧客となる消費者のニーズを把握し、求められる商品・サービスを検討することができる。 ③マーケティングを実践的に活用し、既存の「市場」を成長ないしは変革させる提案ができる。 ④企業と消費者の利益を向上させるための戦略的な提案ができる。

No.	テーマ		内容
1	マーケティングとは何か	授業内容	企業における「マーケティング」の重要性について解説すると共に、本科目の授業の進め方について説明する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
2	外部環境分析	授業内容	企業を取り巻く経営環境の分析方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
3	内部環境分析	授業内容	企業の経営資源の分析方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
4	SWOT 分析	授業内容	外部環境分析、内部環境分析を踏まえ、自社の機会（Opportunity）、脅威（Threat）、強み（Strength）、弱み（Weakness）を導き出す方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
5	ターゲット市場の選定	授業内容	市場のセグメンテーションの方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられて内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。

6	顧客価値の 明確化	授業内容	商品やサービスの本質的な価値を考察する方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
7	ポジショニ ング分析	授業内容	市場における自社の位置付けを明確化する方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
8	ライフサイ クル分析	授業内容	4つの期（導入期、成長期、成熟期、衰退期）毎のマーケティング戦略の定石について解説する。
		予習	授業に関する事例について自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
9	ブランド戦 略	授業内容	ブランドの重要性と成功するブランドの条件について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
10	価格戦略	授業内容	価格設定に関する基本的な考え方について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
11	コミュニケ ーション戦 略	授業内容	プッシュ戦略とプル戦略を中心に、顧客とのコミュニケーションの方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられて内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
12	チャネル戦 略	授業内容	流通チャネルのバリエーションの理解を踏まえ、チャネル構築の方法について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
13	競争戦略	授業内容	自社の市場における地位（リーダー、チャレンジャー、ニッチャー、フォロワー）毎の戦略の定石について解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
14	マーケティ ング戦略	授業内容	マーケティングミックス（Product、Price、Place、Promotion）のフレームを用いて、マーケティング戦略の立案・実行のプロセスについて解説する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で、講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。
15	企業経営と マーケティ ング	授業内容	具体的な企業を取り上げ、マーケティング戦略に関するプレゼンテーションを行う。実施方法については事前に案内する。
		予習	授業に関する事例について、自分で調べた上で講義に臨むこと。
		復習	授業で取り上げられた内容を自分で整理し、新しく得た知識を確認すること。

評価法基準	レポート 60%、プレゼンテーション 40%
教科書	教科書は用いない。都度、必要に応じて資料を配布する。
参考書	なし
履修上の注意	基本的なる概念、知識を学び、それを身の回りにある商品・サービスについて考えることを繰り返します。事前学習に取り組み、講義を通じて理解を深め、具体的な事例を用いて、自分で考えることを習慣付けることで実践的な知識と応用力が身に付きます。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	保健医療経営 I		担当教員	松村 眞吾	
学科	作業療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>急激に進行しつつある超高齢化、人口減少社会にあつて、保健医療分野の役割が重要化しつつある。また、膨らむ医療費・介護費の問題、医師不足など人的資源の問題、情報資源活用等、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症対策などの問題・課題が山積している。本講義では、保健医療の経営を考えるうえで根幹となる介護報酬（社会報酬）や診療報酬等制度の仕組みを中心に解説する。保健医療経営の事業構造を経営主体別に学び、介護経営、病院経営等のソリューション（問題解決）に役立つ人材育成を目指す。</p>
到達目標	<p>① 介護報酬(社会報酬)、診療報酬、地域福祉計画(社会福祉増進計画)、医療計画等の制度が理解できる。</p> <p>② 介護経営、病院経営、社会福祉法人経営、在宅医療・介護サービス経営について知見を得る。</p> <p>③ 現状と将来課題を理解し、保健医療のあり方について一定の見解を持てるようになる。</p> <p>④ 現場において具体的なソリューションを考え、仲間と実践できるスキルを持つ。</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義の進め方について説明
		予習	2 年前期までの学修を振り返って保健医療経営の問題を具体的に考えておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	保健医療を取り巻く状況	授業内容	現代日本の保健医療経営の状況を解説して問題課題を提起。討論も行う。
		予習	前回内容を振り返っておくこと
		復習	重要な問題課題は何かを考えておくこと
3	組織マネジメント	授業内容	保健医療における組織の特性とマネジメントについて考察
		予習	2 年前期までに学んだ関係授業を振り返っておくこと
		復習	医療福祉経営における特性を踏まえ、授業内容をまとめておくこと
4	品質マネジメント	授業内容	保健医療の品質とは何か、また品質管理について考察
		予習	2 年前期までに学んだ関係授業を振り返り、かつ自分なりに考えておくこと
		復習	保健医療の質の質とは何かを考え、その向上策を、まとめておくこと
5	戦略マネジメント	授業内容	保健医療における事業戦略について考察
		予習	2 年前期までに学んだ関係授業及び 3 回 4 回授業を振り返っておくこと
		復習	保健医療における戦略とは何かを考え、何が必要かをまとめておくこと
6	病院経営の実際	授業内容	病院経営の事業構造・収益構造について説明し、具体的事例を挙げて説明し考察
		予習	前回までの授業から病院経営のことをまとめておくこと
		復習	具体的に日本の病院経営の問題を考えておくこと
7	介護経営の実際	授業内容	介護経営の事業構造・収益構造について説明し、具体的事例を挙げて説明し考察
		予習	前回までの授業から介護経営のことをまとめておくこと
		復習	具体的に日本の介護経営の問題を考えておくこと

8	社会福祉法人の経営	授業内容	重要化する社会福祉法人改革を踏まえ、事業構造・収益構造について説明し、その経営の在り方を講義
		予習	2年前期までに学んだ関係授業を振り返っておくこと
		復習	福祉経営の柱をなす社会福祉法人の存在意義、経営をまとめておくこと
9	在宅医療・介護サービス経営	授業内容	在宅療養が推進される。在宅でのサービスにおける事業構造・収益構造を講義し、考察
		予習	2年次前期までに学んだ関係授業を振り返っておくこと
		復習	在宅でのサービスの在り方、問題を考えておくこと
10	医療政策・診療報酬 1	授業内容	診療報酬を中心に日本の医療制度・政策を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	日本の医療制度・政策の方向性をまとめておくこと
11	医療政策・診療報酬 2	授業内容	医療計画などを参考に診療報酬の変遷と今後を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	診療報酬を中心とする制度政策の方向性をまとめておくこと
12	福祉政策 1	授業内容	福祉の歴史を踏まえ、介護報酬（社会報酬）、福祉制度・政策を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	日本の福祉政策の方向性をまとめておくこと
13	福祉政策 2	授業内容	福祉の歴史を踏まえ、地域福祉計画等（社会福祉増進計画）福祉制度・政策を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	日本の福祉政策の方向性をまとめておくこと
14	医療事例研究	授業内容	病院経営における成功（または失敗事例）を紹介し、問題提起と議論
		予習	前回までの授業内容の内、病院経営関係をまとめておくこと
		復習	事例から医療経営のあり方を考え、まとめておくこと
15	福祉事例研究	授業内容	介護経営における成功（または失敗事例）を紹介し、問題提起と議論
		予習	前回までの授業内容の内、介護経営をまとめておくこと
		復習	事例から介護経営のあり方を考え、まとめておくこと

評価法基準	定期試験中心に評価する。中間レポートは加点評価とする。 定期試験ならびにレポートは理解度を中心に自分の意見の有無と内容を評価する。
教科書	テキストは随時、配布または告知する。 具体的なトピックス紹介を考えているので、時々新聞・雑誌・ネット記事なども用いる予定。
参考書	なし
履修上の注意	保健医療関係のニュース、トピックスに注意して欲しい。日常生活には関係のない世界の経営がテーマであるので言葉などが難しい場合がある。事後学習は、問題の中心、課題解決のポイントを確認するように。
オフィスアワー	質問等は授業の前後、UNIPAにて受け付ける。

科目名	保健医療経営Ⅱ		担当教員	田中 智恵子	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	保健医療経営Ⅰを踏まえ本科目では、各分野の経営（病院、介護、社会福祉法人、在宅サービス）をヒト、モノ、カネ、情報から捉え、そのマネジメント手法を解説する。具体的には、病院、介護、社会福祉法人、在宅サービス等を実践している施設のケースを通し、業務改善、経営改善手法を学び、診療報酬、介護報酬（社会報酬）、地域福祉計画（社会福祉増進計画）、医療計画等についてより実践的に学ぶ。また、起業した人材や会社の事例から、保健医療領域での現場改善や起業のニーズ、シーズの活かし方を深める。
到達目標	<p>① 病院、介護、社会福祉法人、在宅サービスの経営の具体的事例を学び、経営課題と改善の方向性を考える</p> <p>② ヒト、モノ、カネ、情報の視点から、医療福祉の現状を鑑み、課題の抽出と改善の方向性を考える</p> <p>③ 職業人として、経営にどのように貢献するかを考える</p>

No.	テーマ		内容
1	保健医療 制度の変 化	授業内容	保健医療分野の制度、サービスの変化と課題認識
		予習	これまで学んだ保健医療分野の制度の変遷をまとめておく
		復習	医療福祉分野の現状から課題を抽出し今後の方向性をまとめる
2	医療制度 と診療報 酬	授業内容	医療保険制度と診療報酬の変化が病院経営に与える影響
		予習	保健医療経営Ⅰで学んだ制度と診療報酬制度を見直しておく
		復習	制度、診療報酬、病院経営の関連をまとめる
3	病院経営 の現状と 課題	授業内容	疾病構造変化、収益構造変化が病院経営に与える影響
		予習	疾病構造の変化、病院の収益について学んだことを振り返っておく
		復習	疾病構造変化が病院経営に与える影響をまとめる
4	介護施設 の経営の 現状と課 題	授業内容	疾病構造変化、収益構造変化が介護施設経営に与える影響
		予習	疾病構造の変化、介護施設の収益について学んだことを振り返っておく
		復習	疾病構造変化が介護施設経営に与える影響をまとめる
5	サービス 質の課題	授業内容	医療サービスの質とサービスの変化と今後の課題
		予習	経験した医療サービスについて課題をまとめておく
		復習	医療サービスの質の改善に必要な key success factors をまとめる
6	人的資源 の課題	授業内容	医療福祉サービスに関わる人的資源の現状と課題
		予習	医療職、介護職の種類と役割をまとめておく
		復習	医療職、介護職が生き生きと働く key success factors をまとめる
7	ケースス タディ	授業内容	病院、クリニック経営のケーススタディ
		予習	これまでの授業を振り返っておく
		復習	ケーススタディから自分の役割を省察する

8	ケーススタディ	授業内容	介護施設の経営のケーススタディ
		予習	これまでの授業を振り返っておく
		復習	ケーススタディから自分の役割を省察する
評価法基準	定期試験 70%、グループディスカッション 30%の割合で評価する。 定期試験ならびにグループディスカッションは理解度を中心に自分の意見の有無と内容を評価する。		
教科書	テキストは随時、配布または告知する		
参考書	なし		
履修上の注意	これまで得た制度、診療報酬、人材マネジメント、質、サービスに関する知識を統合し。経営のあり方、職業人としてのあり方を常に考察していく姿勢を忘れないこと。		
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。		

科目名	実務リーダーのための財務会計 I	担当教員	原田 佳明		
実務経験	<p>昭和 63 年 1 2 月税理士試験合格、平成 3 年 8 月税理士登録</p> <p>大学卒業後 信用金庫に 2 年勤務後 大原簿記学校において税理士試験勉強に専念。</p> <p>昭和 6 3 年大手会計事務所に就職、1 7 年勤務後、平成 1 7 年 7 月永和総合事務所設立し 代表税理士に就任、開業。</p> <p>大手会計事務所勤務時から、学校法人敬心学園の決算を担当、指導してきました。また、関係法人の社会福祉法人敬心福祉会の設立から決算関与し、現在社外理事を務め、法人内外から、経営及び会計の指導しています。現在のクライアントには、病院及びクリニックもあり、様々な法人・個人を担当・指導しています。</p> <p>学生の皆様は、卒業後、学校・福祉法人・病院または一般の会社に就職をされることでしょう。やがて、管理職になられる人、はたまた、自分で開業される人がおられるでしょう。</p> <p>管理職になれば目標数値管理をしていかなければなりません。</p> <p>開業すれば、人の採用、家賃の支払い、利益の獲得にパワーを注ぐこととなります。</p> <p>その結果、財務会計・税務を知っているのと知らないので大きな差ができます。</p> <p>どの部署、どの会社に行かれても財務会計・税金はついてきます。</p> <p>私自身も、就職、管理職昇格、退社、独立開業の道を歩んできました。</p> <p>失敗したこと、成功したこと沢山あります。</p> <p>ぜひ、この経験をふまえ、財務会計の重要ポイントを皆さんに教えていければと思います。</p>				
学科	作業療法学科	学年	1 学年		
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	公表されている学校法人敬心学園及び上場会社の財務数値を題材に 会計的に重要な点や注意すべき点を理解する。また、財務会計だけではなく、将来 就職、管理職、独立開業した時に備え、必要な税務知識も理解する。
到達目標	<p>① 財務会計を理解するために 財務諸表に記載されている科目、金額 記載ルールを理解できるようになる</p> <p>② 簡単な簿記の仕訳を理解する</p> <p>③ 税金の種類を理解する</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	<p>財務諸表とは。</p> <p>財務諸表の役割。</p> <p>敬心学園の財務諸表を見てみよう。</p> <p>貸借対象表と損益計算書のつながりと役割</p>
		予習	財務諸表を調べる
		復習	敬心学園の財務諸表のポイントの確認

2	貸借対照表の解説①	授業内容	貸借対照表にはどんなものが表されているの？ 資産項目とは
		予習	資産項目にはどんなものがあるか
		復習	貸借対照表の勘定科目の確認
3	貸借対照表の解説②	授業内容	固定資産とは 減価償却の計算 負債・資本とは <u>利益はどこに表されるの？</u>
		予習	負債・資本項目にはどんなものがあるか
		復習	貸借対照表の勘定科目の確認
4	損益計算書の解説①	授業内容	<u>どのようなものが収入及び経費なるの？</u> 売上原価とは？ 棚卸資産の評価で利益金額が変わる？
		予習	損益項目にどんなものがあるか
		復習	損益計算書の勘定科目の確認
5	財務諸表周りの解説	授業内容	株主資本等変動計算書や注記もあります。 注記の役割 株主の権利 会社とは？
		予習	注記にはどんなものがあるか
		復習	財務諸表以外の事項の確認
6	税金の概要	授業内容	会社の税金と個人の税金 法人税、所得税、消費税 <u>国が集める税金はいくらあるの？</u>
		予習	税金の種類
		復習	国税、地方税の違いの確認
7	税務申告①	授業内容	会社の税務申告、個人の確定申告の計算の仕方 <u>税金はいつ払うの？</u>
		予習	確定申告とは
		復習	税負担率の違い
8	税務申告②	授業内容	消費税 消費税がかかるもの、かからないもの 消費税は、いつ払うの？
		予習	消費税の概略
		復習	消費税の課税非課税の確認

評価法基準	授業内ミニ確認テスト 40%、定期試験 60% 基準：授業を通じて 最低限の勘定科目の暗記度の確認
教科書	なし

参考書	「改訂4版 決算書入門の入門」税務研究会出版局…購入しなくてもよい
履修上の注意	まず、自分の学校の財務内容を理解して、自分が将来もらうであろう給料に対する税金の負担を認識する また、将来、独立開業した場合の会計・税金を認識する
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	実務リーダーのための財務会計Ⅱ	担当教員	原田 佳明		
実務経験	<p>昭和 63 年 12 月税理士試験合格、平成 3 年 8 月税理士登録</p> <p>大学卒業後 信用金庫に 2 年勤務後 大原簿記学校において税理士試験勉強に専念。</p> <p>昭和 63 年大手会計事務所に就職、17 年勤務後、平成 17 年 7 月永和総合事務所設立 代表税理士に就任、開業。</p> <p>大手会計事務所勤務時から、学校法人敬心学園の決算を担当、指導してきました。また、関係法人の社会福祉法人敬心福祉会の設立から決算関与し、現在社外理事を務め、法人内外から、経営及び会計の指導しています。現在のクライアントには、病院及びクリニックもあり、様々な法人・個人を担当・指導しています。</p> <p>学生の皆様は、卒業後、学校・福祉法人・病院または一般の会社に就職をされることとでしょう。やがて、管理職になられる人、はたまた、自分で開業される人がおられるでしょう。</p> <p>管理職になれば目標数値管理をしていかなければなりません。</p> <p>開業すれば、人の採用、家賃の支払い、利益の獲得にパワーを注ぐこととなります。</p> <p>その結果、財務会計・税務を知っているのと知らないので大きな差がでできます。</p> <p>どの部署、どの会社に行かれても財務会計・税金はついてきます。</p> <p>私自身も、就職、管理職昇格、退社、独立開業の道を歩んできました。</p> <p>失敗したこと、成功したことなど沢山あります。</p> <p>ぜひ、この経験を元に、財務会計の重要ポイントを皆さんに教えていければと思います。</p> <p>そのためには、財務会計Ⅱでは、超簡単な財務諸表を皆さんと作成してみましよう。</p> <p>財務諸表は、どの会社でも同じルールですし、世界中の会計も同じですから。</p>				
学科	作業療法学科	学年	2 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	<p>財務会計の仕組みを理解し、実際に財務諸表を作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務諸表科目を理解する 2. 商売に応じた取引の仕訳を理解する 3. 仕訳から試算表を作成する 4. 試算表から、税金を組み入れ、財務諸表を作成する
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.物を売り買いした取引を、記録し、仕訳を起こし、試算表を作成する 2.最終財務諸表を作成する 3.作成した財務諸表のポイントを理解する

No.	テーマ		内容
1	財務諸表の仕組みと仕訳	授業内容	<p>財務諸表とは。</p> <p>財務諸表の役割。</p> <p><u>敬心学園の財務諸表を見てみよう。</u></p> <p>貸借対象表と損益計算書のつながりと役割</p>
		予習	P 43 まで見てくる
		復習	主な勘定科目を覚える

2	仕訳の基本 ①	授業内容	仕訳のルール・基本
		予習	P 97 まで見てくる
		復習	仕訳の確認
3	仕訳の基本 ②	授業内容	資産・負債の仕訳
		予習	P 131 まで見てくる
		復習	仕訳の確認
4	帳簿の付け 方	授業内容	主要簿と補助簿 仕訳帳の書き方 総勘定元帳への転記 試算表の作成
		予習	P 155 まで見てくる
		復習	総勘定元帳への転記の確認
5	決算作業	授業内容	決算作業 決算手続きの流れ 売上原価・貸倒引当金・未使用品・減価償却費の計算等
		予習	P 179 まで見てくる
		復習	決算整理事項の確認
6	精算表の作 成	授業内容	清算表に勘定科目の残高を記入 清算表に決算修正を記入 損益計算表・貸借対照表欄に記入
		予習	P 197 まで見てくる
		復習	精算表への記入から損益計算書・貸借対照表作成までの流れ
7	財務諸表作 成①	授業内容	① 簿記 3 級程度の問題をポイントを説明しながら解く 取引から仕訳を起こす 仕訳から勘定への記入 勘定への記入から精算表の作成
		予習	仕訳→総勘定元帳→精算表の流れ
		復習	仕訳のチェックと貸借一致の確認
8	財務諸表作 成②	授業内容	② 簿記 3 級程度の問題をポイントを説明しながら解く 合計残高試算表を作成 税金の計算 税金の仕訳を記入 決算書を作成
		予習	合計試算表から決算書までの流れ
		復習	合計試算表から貸借対照表・損益計算書を作成
評価法基準		ミニ確認テスト (8 回×8 点) 64%、定期試験 36% 基準：授業を通じて 最低限の勘定科目の暗記度の確認	

教科書	なし
参考書	「いちばんわかりやすいはじめての簿記入門」公認会計士、税理士 柴山政行著 成美堂出版 …購入しなくてよい
履修上の注意	自分で財務諸表を作成する。 作成することにより、理論と実務を一致させる また、将来、独立開業した場合に作成する財務諸表のポイントを理解する できれば、簿記3級程度を理解する
オフィスアワー	質問等は、授業の前後に受け付ける。

科目名	ビジネスのための法律		担当教員	塩田 英治	
学科	作業療法学科		学年	2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	就労した後は様々な法律問題に直面します。しかしながら、働き始めてしまうとビジネス関係の法令を効率よく学ぶ機会はなかなか得られません。本学で専門的実務を学ぶ間に、卒業後に進む可能性の高い分野に的を絞ってビジネス関連の法律の基礎を学んでいただくべく、複数の法令を題材として授業を行います。
到達目標	①ビジネスに関連する法律を分類できる ②実務に就いた際に将来関わるであろう行政手続について説明できる ③企業や団体に雇用される場合と、自ら起業し事業の経営に携わる場合の法律知識を比較できる ④雇用され、あるいは事業を営む際のリスクを予測できる

No.	テーマ		内容
1	ビジネス法 総論	授業内容	ビジネス分野に関わる法律全般について、制定されている法令の基礎を体系的に理解します
		予習	なし
		復習	授業開始時にプリントを配布しますので、これを使って、講義内容を復習してください
2	ビジネス法 各論	授業内容	医療・福祉分野の事業を行う際に必要となる行政手続（許可、認可、免許、届出など）について解説します
		予習	第1回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
3	個人情報保 護（リスク 管理）	授業内容	個人情報を業務上扱う際のリスクと、個人情報の漏えいを回避するための方策について解説します
		予習	第2回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
4	入管法（外 国人人材採 用・管理）	授業内容	日本で活動（滞在）する外国人のVISAについての基礎知識を習得し、外国籍の労働者を雇用する時のポイントについて学びます
		予習	第3回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
5	法人化法	授業内容	「個人事業」と「組織としての事業」の違いと、組織の種類（会社、NPO法人等）について解説します
		予習	第4回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
6	基礎法学	授業内容	日本の法体系、民法の契約総論、親族相続法、憲法等を実務に即した視点で解説
		予習	第5回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください

7	労働関係法	授業内容	雇用される側、雇用する側の双方の視点から労働関係法令の基礎を学びます
		予習	第6回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
8	成年後見制度	授業内容	日本の成年後見制度について解説し、実社会のどのような場面でその制度が行かされているのかを具体的に学びます
		予習	第7回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください

評価法基準	最終回の講義終了後、各自で最も関心をもった回で学んだことについて、将来を見据えた視点でレポートを書いていただき採点し成績を評価します。
教科書	なし
参考書	なし
履修上の注意	社会人経験がない方は、自分が実社会に出た時を想定して知識の習得に励んでください。すでに社会人経験のある方は、講義の内容をこれまでのご自身が身を置いていた状況を回顧して現実に当てはめて理解を深めて下さい。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	ビジネスのための IT		担当教員	宮脇 啓透	
実務経験	実務家として主にシンクタンクのリサーチ・コンサルティング部門で情報通信関連企業や事業の IT 化を推進したい企業に対して経営戦略や ICT 事業戦略の立案業務を行ってきた。これらの経験を活かして医療・健康分野をはじめとした様々な分野で IT 活用による効果・課題等の実態を伝えるとともに、IT を活用したビジネスアイデアを練る力をつけるための教育を行う。				
学科	作業療法学科		学年	2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	情報技術 (IT) は一般企業にも行きわたり、ビジネスを組み立てる、実行するうえでも必須の要素となっている。IT がビジネスで活用されている身近な事例を教材として用い、ビジネスの具体的な場面で用いられている IT の用語や、医療・健康分野ではこういった目的で IT が活用されているか等を学習する。講義内では、本講義で学ぶ事例、いままでに情報関連の科目で学んだ知識を活用するためのディスカッションの機会を複数回設け、学習した事例をもとに IT を活用したビジネスアイデアを練る力を身につける。
到達目標	①ビジネスシーン (医療・健康分野含む各分野) で使う IT 用語を理解し説明することができる ②ビジネスシーン (医療・健康分野含む各分野) で活用されている最新の IT の仕組みを理解し説明することができる ③ビジネスシーン (医療・健康分野含む各分野) で IT を活用するアイデアに適用できる

No.	テーマ		内容
1	ビジネスのための IT 基礎	授業内容	ビジネスシーンにおける IT の活用事例および今後の発展性についての全体像を理解する。
		予習	今まで学んだ IT の知識の復習を行う。(30 分)
		復習	最終課題レポートの概要を説明するので最終課題レポートに向けた準備を行う。(30 分)
2	IoT	授業内容	IoT の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	身の回りにおけるインターネットに繋がった機器の確認を行う。(30 分)
		復習	講義内容に出た IT・事例を整理しまとめておく。(30 分)
3	IoT	授業内容	前回に続き IoT の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解し、活用シーンのアイデアを練る。
		予習	IoT の活用シーンを考える。(60 分)
		復習	自分で考えた活用シーンのアイデアを整理しまとめておく。(60 分)
4	ビッグデータ	授業内容	ビッグデータの仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	身の回りにおけるビッグデータが活用されているサービスの確認を行う。(30 分)
		復習	講義内容に出た IT・事例を整理しまとめておく。(30 分)
5	AI	授業内容	AI の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	身の回りにおける AI が活用されているサービスの確認を行う。(30 分)
		復習	講義内容に出た IT・事例を整理しまとめておく。(30 分)

6	ビッグデータ/AI	授業内容	ビッグデータ/AI の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解し、活用シーンのアイデアを練る。
		予習	前回の講義のまとめと、AI の活用シーンを考える。(60分)
		復習	自分で考えた活用シーンのアイデアを整理しまとめておく。(30分)
7	まとめと Society5.0	授業内容	内容の振り返りと今後継続して学習するための方法等を理解する。
		予習	最終課題についてラフ案をまとめておく。(60分)
		復習	まとめを踏まえ最終課題の作成を行う。(120分)
8	DX	授業内容	DX やビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	最終課題について完成稿に近いものをまとめておく。(60分)
		復習	最終課題の作成や見直しを行う。(60分)

評価法基準	最終課題レポート 80%、小課題 20% 基準：最終課題レポートは、①講義内容の知識の理解度②理解した知識を応用する力③アイデアをまとめる力を多面的に評価します。講義内でも最終課題レポートについて学生が考える機会を設けます。
教科書	なし
参考書	なし
履修上の注意	なし
オフィスアワー	授業前後、UNIVERSAL PASSPORT の授業 Q&A で受け付ける

科目名	在宅サービスの事業経営		担当教員	非常勤教員	
学科	作業療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	創業企画から会社を軌道にのせるまでの方法や考え方を学ぶ。具体的には①会社概要、②創業動機・ビジョン、③事業内容、④競合分析と競争優位性、⑤ターゲット市場、⑥マーケティング状況、⑦ビジネスモデル、⑧販売計画、⑨仕入れ・経費計画、⑩事業化計画、⑪店舗計画、⑫資金計画、⑬資金繰り表、⑭収支計画、⑮事業リスクなどについて学び、自身を創業者に見立て理解を深める。
到達目標	① 事業経営に必要な事項について知り、資料を作成し説明できる。 ② 創業前に具体的しておくべき事項について知ることができる。 ③ 創業後起こるリスクについて理解を深めることができる。

No.	テーマ		内容
1	会社設立・創業動機	授業内容	会社設立までの手続き方法を知る。
		予習	自身を創業者に見立て、会社概要・創業動機について考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
2	事業内容・競合分析	授業内容	事業内容について考えを深める。競合分析を行う。
		予習	事業内容を具体的に考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
3	ターゲット市場・マーケティング	授業内容	ターゲット市場の探し方・マーケティングについて知る。
		予習	事業の対象者についての的を絞り、その理由を考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
4	ビジネスモデル・販売計画	授業内容	ビジネスモデルを作成し、販売計画を作成する。
		予習	事業継続していく上での仕組みを図にして考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
5	経費計画・事業化計画	授業内容	経費計画、事業化計画の実例を知り、作成する
		予習	経費に係るものを列挙しておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
6	店舗計画・資金計画	授業内容	店舗計画・資金計画の実例を知り作成する。
		予習	資金がどの程度必要か考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
7	資金繰り・収支計画	授業内容	資金繰りの実例を知り、実際に作成する。
		予習	資金調達の手段を考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
8	事業リスク開設後の事	授業内容	事業リスクについて理解を深める。リスク表を作成する。
		予習	事業リスクにはどのようなものがあるか考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。

評価法基準	レポート：100 事業経営についての多面的理解を評価する。
教科書・参考書	なし
参考書	なし
履修上の注意	なし
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	事業計画策定概論		担当教員	池田 栄治	
実務経験	実務的な金融機関での事業計画書審査、コンサルティング会社での事業計画書策定コンサルティング、研修会社での新規事業計画策定セミナー講師の経験と知識・スキルを活かして、学生の自由な発想から新規事業、新規のサービス・製品のアイデアを事業計画書にまとめ上げる力を養う。事業計画の作成過程において、文章の論理構成と第3者に伝わる表現能力を磨くことを重視する。				
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	企業の継続的成長や顧客創造を実現するために新たな事業活動は不可欠である。新たな事業活動の出発点である事業を構想（アイデア出し）する発想法を学び、保健医療分野において新しい事業やサービスを計画するための事業計画書を策定するプロセスを習得する。策定過程において、ビジョン、事業コンセプト、マーケティング戦略、財務戦略等の重要性を理解する。社会貢献につながるオンリーワンの構想を形にする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業計画を策定するにあたり、一貫性、納得性ある論理的なストーリーが展開できる。 ② 事業計画の構成や記載方法を理解し、フォーマットに従ったわかりやすい表現ができる。 ③ 自分らしい楽しい事業計画を作成して、印象強く第3者に伝えることができる。 ④ 他者の見解を傾聴し、感想やアドバイスを伝えることができる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義の全体像とゴール、事業計画書の策定目的、事業計画書の全体像
		予習	身近なニュービジネスのリサーチ
		復習	授業内容をまとめ、次回までの実践テーマの決定・実践・振り返り・記録
2	クリエイティブ・シンキング	授業内容	事業アイデアの発想法、儲ける仕組み、ヘルスケアビジネスの特徴
		予習	ヘルスケア分野の新サービス、新商品のリサーチ
		復習	授業内容をまとめ、次回までの実践テーマの決定・実践・振り返り・記録
3	アイデア出しと評価	授業内容	アイデアシートの記入と評価方法の習得
		予習	ヘルスケア分野の新サービス、新商品に関する独自のアイデア出し
		復習	授業のまとめ、アイデアシートの完成
4	マイ・ビジネスの目的	授業内容	事業への思い、コンセプトの組み立て方の習得
		予習	その事業を選択した理由の整理
		復習	授業のまとめ、事業コンセプトの完成
5	ビジネスモデルの整理	授業内容	事業ビジョンとビジネスモデルキャンパスの組み立て方の習得
		予習	その事業が目指すべき社会のイメージを考えてくる
		復習	授業のまとめ、ビジネスモデルの完成
6	マーケティング戦略・リサーチ	授業内容	市場手法、競合分析手法を理解し、誰に何を売るか検討する
		予習	顧客ターゲットと競合品のリサーチ
		復習	授業のまとめ、ターゲットと競合分析の完成
7	マーケティング戦略・ストーリー	授業内容	ユーザーの購買ストーリー、ペルソナの作り方の習得
		予習	商品購入に至る行動のイメージを考えてくる
		復習	授業のまとめ、ビジョンストーリー、ペルソナの完成

8	マーケティング戦略・個別戦略	授業内容	4 P（商品・サービス、価格、広告宣伝、チャネル）の具体策の習得
		予習	何をいくらでどのように売るかを考えてくる
		復習	授業のまとめ、マーケティングプランの完成
9	事業収支計画①	授業内容	収支計画策定のための財務の基礎知識の習得
		予習	損益計算書の構造について調べてくる
		復習	財務分析手法や財務の基礎知識を再確認し、自力で作成できるようにする
10	事業収支計画②	授業内容	事業収支計画を作成する。前提条件を変えて3パターン作成。
		予習	売上高、費用の概算を立ててくる
		復習	授業のまとめ、事業収支計画書ドラフト作成
11	アクションプラン作成	授業内容	実行体制、リスクと対策、スケジュールの作成方法を習得する
		予習	業務プロセスを考えてくる
		復習	授業のまとめ、事業計画書のドラフト作成
12	事業計画書の作成	授業内容	事業計画書の完成（前半）
		予習	情報の整理と追加情報の確認
		復習	発表フォーマットへの整理
13	事業計画書の作成	授業内容	事業計画書の完成（後半）
		予習	情報の整理と追加情報の確認
		復習	発表フォーマットへの整理
14	発表会	授業内容	事業計画案の発表、質疑応答、アドバイスによる研鑽
		予習	発表リハーサル
		復習	アドバイスからの修正案作成
15	発表会③ まとめ	授業内容	事業計画案の発表、質疑応答、アドバイスによる研鑽、総括
		予習	発表リハーサル
		復習	アドバイスからの修正案作成

評価法基準	<p>評価法：アイデアシート 10%、ビジネスモデルキャンパス 10%、事業計画書評価 40%、筆記試験 40%。</p> <p>基準：事業計画書は新規性、実現可能性、収益可能性等の簡易評価視点で評価する。</p> <p>試験・レポートは事業計画書の策定過程で学習した経営戦略等の基本知識を評価する。</p>
教科書	教科書はなし、毎回レジュメを配布する。
参考書	<p>『マンガでやさしくわかる事業計画書』井口嘉則、日本能率協会マネジメントセンター、2013年</p> <p>『ヘルスケアビジネス成長戦略研究』松室孝明、ダイヤモンド社、2015年</p> <p>『儲けの仕組み』株式会社タンクフル、2019年</p>
履修上の注意	<p>全回出席して、着実に段階的に事業計画を策定することに努力すること。</p> <p>個人の事業アイデアは、他者との情報共有や相互アドバイスで向上するので、クラス内での意見交換には積極的に参加すること。</p>
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	総合事業開発		担当教員	根岸 靖	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修	選択	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	経営分野の学びを、どのように保健医療分野及び隣接他分野で活かすことができるか、両者の接続を図ることを目的とする。事例研究を基に、ディスカッション形式による授業を展開する。保健医療分野の経営戦略・マーケティング・財務戦略・IT・人事戦略の事例、隣接他分野での新しいサービス開発事例などを取り上げる。ゲストスピーカーを招き、実務現場の臨場感を伝える場を設けるなど、実践的な授業を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 自身でビジネスプラン(事業計画)を一通り立てられる。 ② 企業での事業の成り立ちや進め方を理解できる。 ③ チームメンバーとして、事業を計画する上での役割分担について理解する。 ④ 資料作成に必要な手法を身につける。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	授業の目的及び進め方を提示し、活動するグループ分けを行う
		予習	今までに受講した経営系の科目の復習
		復習	策定するビジネスプランのテーマを考える準備を行う
2	ビジネスプランとは	授業内容	基本的なビジネスプランの構成、策定の目的などを学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	講義中に取り上げたテーマを中心に、新聞やインターネットなどから実際の企業ではどのように事業を進めているか確認する
3	ビジネスのアイデア	授業内容	ビジネスプランの中心となる事業のアイデアについて学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業でグループディスカッションした内容を元に、自分の身近な生活の中でアイデアとなるものを考える
4	戦略とは	授業内容	事業戦略とは何か、その目的、効果などについて学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業で取り上げたケーススタディに類似した商品等を素材に、自身の生活の中でどのような戦略に基づいて事業展開しているかを考える
5	ターゲット	授業内容	戦略を立てる上でのターゲット設定について学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業で取り上げたケーススタディに類似した商品等を素材に、自身の生活の中でどのような戦略に基づいて事業展開しているかを考える
6	マクロ環境分析	授業内容	ビジネスプランを策定するために必要な分析手法を学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業で取り上げたケーススタディに類似した商品等を素材に、自身の生活の中でどのような戦略に基づいて事業展開しているかを考える

7	ビジネスプラン作成の基本	授業内容	実際にビジネスプランを策定するために必要な手法や基本となるフォーマットを学ぶ
		予習	パワーポイントやエクセル等の基本的な使い方を理解しておく
		復習	授業中に取り組んだ課題の内容を確認し、理解を深める
8	ビジネスプランの作成1	授業内容	これまで学んだ内容を元に、グループでビジネスプランを策定する。グループで取り上げるテーマを確定させる。
		予習	テーマとして取り上げる事柄を決めるための情報収集
		復習	取り上げたテーマについての情報収集、グループでのディスカッション
9	ビジネスプランの作成2	授業内容	自分たちで取り上げるテーマについての基本的な方向性を考える
		予習	テーマとして取り上げる事柄を決めるための情報収集
		復習	取り上げたテーマについての情報収集、グループでのディスカッション
10	ビジネスプランの作成3	授業内容	テーマをブレイクダウンし、ビジネスプランを策定するために必要な情報収集とその分析を行う
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	テーマについての情報収集、グループでのディスカッション
11	ビジネスプランの作成4	授業内容	情報収集と分析から、他社との差別化要因について整理し、プランの内容を深めていく
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	テーマについての情報収集、グループでのディスカッション
12	ビジネスプランの作成5	授業内容	分析収集した情報を整理し、プラン策定のとりまとめにつなげる
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	ビジネスプラン策定のための資料作成、グループでの進め方についてのディスカッション
13	ビジネスプランの作成6	授業内容	最終報告会に向け、ビジネスプランの全体像を概観する
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	ビジネスプラン策定のための資料作成、グループでの進め方についてのディスカッション
14	ビジネスプランの作成7	授業内容	発表会での発表内容を確定させ、効果的なプレゼンテーションの仕方を考える
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	最終報告会に向けての発表練習
15	ビジネスプランの発表	授業内容	策定したビジネスプランをグループごとに発表する。発表内容について、全員でディスカッションを行う。
		予習	発表に向けてのプレゼンテーション練習
		復習	策定したビジネスプランやプレゼンテーション方法についての振り返り

評価法基準	課題及び試験 (50%)、プレゼンテーション (50%)
教科書	教科書はなし。都度、資料を配布する。
参考書	参考書：「MBA ビジネスプラン」(グロービス著)、「Excel ではじめてのビジネスプランが書ける本」 (若月 光博著)
履修上の注意	自らが事業を立ち上げると考え、積極的にグループ活動に参加し、能動的に授業に臨むこと。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける